

検 定 意 見 書

7 枚中 1 枚目

受理番号 29-61		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 全巻		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容の「節度、節制」)	2-(1)				
2	目次	右ページ下段 1	他の人とのかかわり 他：目次右ページ下段11行/目次左ページ下段14行・15行	表記が不統一である。 (37ページの記述)	3-(4)				
3	目次	左ページ下段 16	各教科書の番号	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
4	目次	左ページ下段 16	学習指導要項	誤記である。	3-(2)				
5	24	21	戸惑いの読み方(とまどい)い	誤記である。 (読み方)	3-(2)				
6	54	左囲み 2	校内の方をじっと見つめながら歩き出した真理子	相互に矛盾している。 (54ページ10～14行の記述)	3-(1)				
7	66	6	『嘉納治五郎語録集』	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (実在の書籍であるかのように誤解する。)	3-(3)				
8	77	左囲み 2	ある人の姿を見ている僕は	相互に矛盾している。 (77ページ11行の記述)	3-(1)				
9	91	11	『中学校読み物資料集』 他：113ページ13行	不正確である。 (出典名)	3-(1)				
10	93	17	黒ん坊さん 他：95ページ7行黒んぼ・9行黒ん坊	健全な情操の育成について必要な配慮を欠いている。	1-(5)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 29-61		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	96	2 - 3	ドジャースの名セカンドであったピー・ウィー・リーズ	不正確である。 (セカンド)	3-(1)				
12	126	11	妊娠八か月の時に、切迫流産で入院したこと	不正確である。 (切迫流産)	3-(1)				
13	127	左囲み 3	「お父さんの詩」を読んで	生徒にとって理解し難い表現である。 (「お父さんの詩」)	3-(3)				
14	145	上写真	農協牛乳	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
15	146	1 - 2	唐揚げは、塩麴です。味噌や醤油、酒、酢、みりんを作る際に欠かせない食品です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (塩麴が味噌や醤油、酒、酢、みりんを作る際に欠かせない食品であるかのように誤解する。)	3-(3)				
16	149	14	そんなじらさくていいよ	脱字である。	3-(2)				
17	178	10 - 11	いちらしくて 他：179ページ8行からだちゅう/180ページ5行からだちゅう	相互に矛盾している。 (180ページ14行旧仮名遣いをあらためた)	3-(1)				
18	178	脚注1 -2	稚魚 卵からかえって間もない魚。 他：178ページ脚注3～4行清澄 清く澄んでいること。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (本文に該当する語句がない。)	2-(1)				
19	190	3	Ⅲ：自然や命のこと Ⅳ：集団や社会との関わりのこと	相互に矛盾している。 (190ページ下囲み13～28行)	3-(1)				
20	190	下囲み 6	夢や目標を持ち、前向きに生きる心	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (内容の「真理の探究、創造」)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 3 枚目

受理番号 29-61		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	中巻 全巻		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容の「節度, 節制」)	2-(1)				
22	目次	右ページ上段 7	〈もっと知りたい〉 他：目次右ページ下段1行・4行・10行 /目次左ページ上段3行/目次左ページ 下段2行・12行・13行	表記が不統一である。 (12ページ書いてみよう)	3-(4)				
23	目次	左ページ下段 14	各教科書の番号	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
24	目次	左ページ下段 14	学習指導要項	誤記である。	3-(2)				
25	21	14	『中学校読み物資料集』 他：78ページ5行/102ページ12行/165 ページ12～13行	不正確である。 (出典名)	3-(1)				
26	30	7 - 11	「ガンは発生しやすいような環境によって生じる」という説を『胃癌発生論』という本の中で主張した。・・・勝三郎はそれに感染してしまった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (『胃癌発生論』の刊行は、山極勝三郎が結核に感染する前であるかのように誤解する。)	3-(3)				
27	72	3 - 4	上の図は灰色の横線がすべて水平なのに傾いて見える。この画像を「錯視を起こす部分」と「それ以外の部分」に分けてみよう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (上の図が何を指しているかわからない。)	2-(1)				
28	80	8 - 9	生活環境課（現在は、生活安全課） 他：81ページ6行環境課	不正確である。 (課名)	3-(1)				
29	88	7 - 8	当園出口の閉門いたします	誤記である。	3-(2)				
30	92	11	満州国の大都市ハルビン	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (当時、満州国が存在していたかのように誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 4 枚目

受理番号 29-61		学校 中学校	教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	93	図	図全体	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)
32	109	左上	繁盛のためには… 他：111ページ左上	表記が不統一である。 (108ページ表題)	3-(4)
33	128	脚注6	A d r e s s	誤記である。	3-(2)
34	129	8 - 9	寛文の読み方 (かんもん)	誤記である。 (読み方)	3-(2)
35	139	11	中南米九カ国の I O C 委員を説得するよう	不正確である。 (九カ国)	3-(1)
36	148	1	八月一日、二日に長岡まつり大花火大会が開かれる	不正確である。 (八月一日)	3-(1)
37	159	左囲み 3	そこには人々のどのような思いだったのでしょうか。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
38	176	上段9	その生命の流れをたやすいことなく	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
39	177	脚注1 3-19	バリアフリーは、身体障害者や高齢者が生活を営む上で・・・障害を取り除いた物および状態	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (バリアフリーは、身体障害者や高齢者のみを対象とした考えであるかのように誤解する。)	3-(3)
40	190	3	Ⅲ：自然や命のこと Ⅳ：集団や社会との関わりのこと	相互に矛盾している。 (190ページ下囲み13～28行)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 5 枚目

受理番号 29-61		学校 中学校	教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
41	190	下囲み 6	夢や目標を持ち、前向きに生きる心	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (内容の「真理の探究, 創造」)	3-(3)
42	下巻 全巻		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容の「よりよい学校生活, 集団生活の充実」)	2-(1)
43	目次	右ページ上段 9	3R 他：目次右ページ上段10行・12行/目次右ページ下段1行/目次左ページ上段7行・18行/目次左ページ下段3行・11行・12行・13行	表記が不統一である。 (21ページ1行3Rってなあに?)	3-(4)
44	目次	左ページ下段 14	各教科書の番号	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
45	目次	左ページ下段 14	学習指導要項	誤記である。	3-(2)
46	13	10	『中学校読み物資料集』 他：51ページ14行/67ページ14行/116ページ13行/147ページ14行	不正確である。 (出典名)	3-(1)
47	26	4 - 5	そして、とうとう平成十九年には	誤記である。	3-(2)
48	37	写真キ ャプ ション	この木は作中に登場する農薬をやめて8年目に7つの花を咲かせたものではありません	生徒にとって理解し難い表現である。 (8年目に7つの花を咲かせたものではありません)	3-(3)
49	42	5	一万二千人もが働く	不正確である。 (一万二千人)	3-(1)
50	81	図	図全体	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 29-61		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
51	83	3	黄河氾濫で勢力を争っている	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
52	84	右囲み 3	カナウス	誤記である。	3-(2)				
53	85	図	図全体	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
54	90	1 - 2	『障害の有無によって、分け隔てをする環境や仕組みを改め、差別や偏見を取り除く』 他：90ページ5～6行『世の中で最も哀れなのは、目が見えてもビジョンのない人だ。』・15～16行『障害者のニーズに応じて、過重な負担にならない範囲で手助けや便宜の提供を課している。』	表記が不統一である。 (88ページ2段14行～3段2行の記述)	3-(4)				
55	94	11	惣次郎	誤記である。	3-(2)				
56	129	1 - 2	その後、藩の立て直しが軌道に乗った頃、鷹山は三十五歳の若さで藩主の地位から退きました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (これより前の記述の全ては、上杉鷹山が藩主の地位を退く以前の出来事であったかのように誤解する。)	3-(3)				
57	143	6	こじんまり	誤記である。	3-(2)				
58	144	7	檜野崎灯台 他：144ページ9行・図/146ページ12行	誤記である。 (崎)	3-(2)				
59	148	8 - 10	その中でも、私たちの生きる糧でもある、その年の清らかな新穀の恵みに感謝を捧げる神嘗祭は、私たちのくらしの平安と活力の証しであり、栄えゆく豊かなくらしを約束する、喜びと希望	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 29-61		学校 中学校		教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			に満ちたお祭りです。			
60	148	17 - 18	我が国にとって第一の儀式と重んじられ、約1300年という、世界でも例を見ない、かけがえのない歴史と伝統を有しています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
61	152	14	どなりりこみにいった	誤記である。	3-(2)	
62	156	18 - 19	日本の臓器移植法は、ドナーカードによる臓器提供の意思表示だけでなく、家族の同意を求めています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (法律によって、臓器提供の意思表示の際にはドナーカードを用いることが義務付けられているかのように誤解する。)	3-(3)	
63	158	10 - 13	フランクは、収容所で妻も子供も両親も失いました。家族すべてをガス室で殺されたり、餓死させられたりしています。	不正確である。 (子供も、家族すべてを)	3-(1)	
64	167	11	東伯	誤記である。	3-(2)	
65	190	3	Ⅲ：自然や命のこと Ⅳ：集団や社会との関わりのこと	相互に矛盾している。 (190ページ下囲み13～28行)	3-(1)	
66	190	下囲み 6	夢や目標を持ち、前向きに生きる心	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (内容の「真理の探究、創造」)	3-(3)	
67	191	2	3年生の	相互に矛盾している。 (191ページ3行・4行・5行3年間の)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 29-63		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 48	下段3 9	中学校読み物資料とその利用 1 他：154ページ22行	不正確である。 (出典名)	3-(1)				
2	53	上段7	「新しい東北」創造事業 他：53ページ下段1行	不正確である。 (事業名)	3-(1)				
3	58	4 - 5	アテネオリンピックに出場することができた上野選手でしたが、出番は最後までありませんでした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出番が最後までなかったかのように誤解する。)	3-(3)				
4	61	脚注2 -3	児童・生徒に対して	不正確である。 (特別支援学校で教育を受ける対象者)	3-(1)				
5	63	17 - 18	盲学校は県内に一校しかなく	不正確である。 (設置状況)	3-(1)				
6	65	上段1 -2	障害者や高齢者も健常者と同じように平等に扱われ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (高齢者の全てが健常者でないかのように誤解する。)	3-(3)				
7	80	上段3 -4	平成十六年(二〇〇四年)の高知西南豪雨	不正確である。 (時期)	3-(1)				
8	80	上段8 -9	四国で唯一生育する篠山のアケボノツツジ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アケボノツツジが、四国では、篠山で唯一生育するかのように誤解する。)	3-(3)				
9	139	中段左 囲み2- 3	春に全国高等学校野球選手権大会	不正確である。 (大会名)	3-(1)				
10	158	脚注2	電子力発電所	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 29-63		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	159	囲み	へびの動きの研究	生徒にとって理解し難いグラフである。 (サーペノイド曲線)	3-(3)				
12	161	上段4	EMIEW3 (エミュースリー)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
13	161	下段10	変なホテル	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
14	173	上段4	オスマンパンチャ少尉	不正確である。 (階級)	3-(1)				
15	中巻 19	15 - 17	The best way to find out if you can trust somebody is to trust them. 誰かを信頼できるかを試すのにいちばん良い方法は、彼らを信頼してみることだ。	指摘箇所の典拠は、信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)				
			他：77ページ11～12行・15行						
16	21	13	商店街 他：21ページ17行	相互に矛盾している。 (21ページの図)	3-(1)				
17	21	図	ごみ収集場所に指定できる場所を示す青色のマーク	相互に矛盾している。 (21ページ12行三か所)	3-(1)				
18	33	上段1-2	明治三十四年（一九〇一年）から平成十三年（二〇〇一年）の百年	不正確である。 (百年)	3-(1)				
19	43	14	西の空には三日月が見えた。	相互に矛盾している。 (43ページの挿絵の月)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 29-63		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	69	写真キャプション	平成4年～平成14年	不正確である。 (平成4年)	3-(1)				
21	87	8	再現法で学習してみよう	生徒にとって理解し難い表現である。 (再現法)	3-(3)				
22	109	20	中学道徳読み物資料集	不正確である。 (出典名)	3-(1)				
23	122	下段グラフ	ボランティア活動に興味があるかのグラフ全体	学習上必要な項目が示されていない。 (nの定義)	2-(10)				
24	139	2	陸前高田の読み方 (りくぜんたかだ)	誤記である。 (読み方)	3-(2)				
25	139	下段写真キャプション	鳴戸の渦潮	誤記である。	3-(2)				
26	174	上吹出し4	阪神淡路大震災 他：174ページ下吹出し4行/175ページ 下段囲み2行	不正確である。	3-(1)				
27	下巻 14	囲み1	阪神淡路大震災	不正確である。	3-(1)				
28	79	15 - 16	昭和四十年代に入ると、自然を守る動きも活発になり、森林生態系保護地域が設定された。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (森林生態系保護地域の設定時期について誤解する。)	3-(3)				
29	111	5 - 6	自分もっているもので、自分の場所で、できることをやりなさい。	指摘箇所の典拠は、信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 29-63		学校 中学校	教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
30	138	2 - 3	たくさんいるとことを聞いたんだ	誤記である。	3-(2)
31	138	9 - 10	国や地方公共団体の首長を選ぶ選挙も、自分の意見を反映させる大切な機会だと気付いたんだ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (国の首長を選ぶ)	3-(3)
32	140	表題	オレンジ色の線 他：144ページオレンジ色の旗/149ページ青色の旗	誤記である。	3-(2)
33	163	13 - 15	アテネ、北京、ロンドンと、三回のパラリンピックに出場することができたのです。いずれも予選で敗退しました	不正確である。 (北京パラリンピックの結果)	3-(1)
34	176	8	楽曲をを力いっぱい吹いた	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 29-64		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	1 巻 146	9	六つのメダル	不正確である。 (六つ)	3-(1)				
2	163	囲み上 段6	「一番大切大事なこと」	表記が不統一である。 (162ページ20～21行の記述)	3-(4)				
3	3 巻 67	脚注4 -5	ブリッジ 船の前部の甲板の部分	不正確である。	3-(1)				
4	73	8	あきらめめた	誤記である。	3-(2)				
5	98	囲み上 段5	誠実な人がばかを見る社会	表記が不統一である。 (98ページ6～7行の記述)	3-(4)				
6	126	24	一九九七（平成九）年二月二十一日	不正確である。	3-(1)				
7	137	囲み上 段4-5	「アイツに知られたら……。」	表記が不統一である。 (134ページ下段3行の記述)	3-(4)				
8	5 巻 79	脚注5 -6	長野県篠ノ井～新潟	不正確である。	3-(1)				
9	96	図	カスピ海の配色	表記が不統一である。 (図中の他の湖沼の配色)	3-(4)				
10	118	囲み上 段4	挨拶版	表記が不統一である。 (117ページ22行/118ページ2行の記述)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 29-65		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	1巻 152	上段4	「俺を出し抜くな」	表記が不統一である。 (150ページ14行の記述)	3-(4)				
2	5巻 90	上囲み 7	クリック詐欺	誤記である。	3-(2)				
3	145	囲み図	→より男性的 →より女性的	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
4	③	表25	共に生きる社会の実現	表記が不統一である。 (28ページ表題)	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 29-66		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 目次①	下段1 5	生き生きとかがやいて	表記が不統一である。 (103ページ表題)	3-(4)				
2	76	挿絵	下記の雑誌の最新号はカウンターの中にあります。ご覧になりたいかたはお申し出ください。	相互に矛盾している。 (76ページ4行の記述)	3-(1)				
3	82	11	満点の星	誤記である。	3-(2)				
4	99	7	「私も、手伝おうかしら。」	相互に矛盾している。 (99ページ17行の記述)	3-(1)				
5	102	表題	探究の対話 p4c (ピーフォーシー) をしてみましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (p4c)	3-(3)				
6	130	6	新しい道徳	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
7	144	17	宮城農業高校	不正確である。 (校名)	3-(1)				
8	173		ページ全体	学習指導要領の内容に示す項目との関係が明示されていない。	固有 2-(4)				
9	中巻 67	15- 16	このような和食のよさが、海外の人たちにも認められるようになったことが、世界遺産登録につながった	不正確である。 (世界遺産)	3-(1)				
10	68	3	食べ物に対して感謝の言葉を口にするのは日本人だけです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 29-66		学校 中学校		教科 道徳		種目 道徳		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	70	左地図	地図全体	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
12	94	地図	ドイツの占領地域	生徒が誤解するおそれのある地図である。 (ドイツの占領地域の範囲について誤解する。)	3-(3)				
13	125	脚注10	ウルグアイ共和国	表記の基準によっていない。 (国名)	3-(4)				
14	153	2	一九九三年(平成五年)	不正確である。	3-(1)				
15	下巻 全巻		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容の「節度、節制」)	2-(1)				
16	全巻		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容の「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」)	2-(1)				
17	27	図	そもそもいじめって、冤罪みたいなものだよな。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (いじめについて誤解する。)	3-(3)				
18	31	7	見上げると真っ暗な空はくもっていて星は一つも見えず	相互に矛盾している。 (31ページ挿絵)	3-(1)				
19	121	上段2	夜になって 他：121ページ上段6行次の日	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時系列について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 29-67		学校 中学校		教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 128	脚注1 -4	発酵 こうじ菌など人体に有益な微生物が増殖すること	不正確である。 (微生物が増殖する)	3-(1)	
2	172	9 - 10	四月十六日の一時過ぎ、「平成二十八年熊本地震」と命名された大きな地震が発生しました	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (4月16日の1時過ぎに発生した地震のみの名称であるかのように誤解する。)	3-(3)	
3	193	中ページ2段 左囲み	変えられるものが二つある。それは自分と未来だ。	不正確である。 (出典に照らして引用が不正確である。)	3-(1)	
4	193	右ページ1段 右囲み	人の上に立つ対象となるべき人間のひと言は、深き思慮をもってなすべきだ。軽率なことは言うてはならぬ。	指摘箇所の典拠は、信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)	
5	中巻 42	3 - 9	一九七二(昭和四十七)年十一月、 ・ ・ ・市民シンポジウムが行われていた。 ・ ・ ・次のように提案をした。「釧路湿原を国立公園にして・ ・ ・」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1972年のシンポジウムにおいて国立公園化の提案がされていたかのように誤解する。)	3-(3)	
6	114	5 - 8	震災から僅か三か月という速さで完成させた復興案の概要は、次のようなものでした。・ ・ ・審議会では、新平の考えた案に賛成する者はほとんどいませんでした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (当時の復興計画立案の経緯)	3-(3)	
7	116	9 - 10	一九二三年十二月、震災から僅か四か月足らずで本格的な復興事業が開始されました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本格的な復興事業の開始年について誤解する。)	3-(3)	
8	116	17 - 18	現在の日本ボーイスカウト連盟	不正確である。 (組織名)	3-(1)	
9	164	1 - 2	一九二四(大正十三)年三月、静岡県藤枝町(現在の藤枝市)に志太中学校(現在の静岡県立藤枝東高等学校)を設立することが認められ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (1924年3月に設立認可されたかのように誤解する。)	3-(3)	
10	166	7	社会科の先生	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (旧制中学校で社会科という教科があったかのように誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 29-67		学校 中学校		教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	177	中ページ1段右囲み	悲観的になるのは、自分のことばかり考えているから。 他：178ページ左ページ2段右囲み・左ページ3段右囲み・中ページ1段右囲み	指摘箇所の典拠は、信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)	
12	下巻 89	グラフ	グラフに示す選択回答	不正確である。 (2004年、2009年の死刑もやむをえない)	3-(1)	
13	104	5	留置場の罪人	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (被留置者の罪が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)	
14	128	2 - 3	幼い頃、僕は、近所の消防団員によく誘われた。喜んでポンプ車に乗り込み出かけた。ときどき、鐘を鳴らすことができる	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的に行われている行為であるかのように誤解する。)	3-(3)	
15	154	1	一九八六年七月二日	不正確である。 (七月二日)	3-(1)	
16	163	6 - 7	一九一二(大正元)年	不正確である。 (大正元)	3-(1)	
17	164	下段1 7-18	鹿児島に戻った西郷に会いに行きました	相互に矛盾している。 (165ページ上段4～15行これが元庄内藩士・・・してくれました。)	3-(1)	
18	177	右ページ1段右囲み	挨拶は適当にはしてはいけない。 他：178ページ左ページ4段左囲み・右ページ5段左囲み	指摘箇所の典拠は、信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 29-68		学校 中学校	教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 2	11	社会を生きぬくマーク	相互に矛盾している。 (214ページ表題下命の尊厳マーク)	3-(1)
2	6	脚注5 -6	児童・生徒に対し 他：36ページ脚注2～3行	不正確である。 (特別支援学校で教育を受ける対象者)	3-(1)
3	19	2段写真 真キャ プショ	清水市	不正確である。 (市名)	3-(1)
4	29	囲み3 -4	「自分で生きることを選び取った命」	表記が不統一である。 (28ページ10～11行の記述)	3-(4)
5	43	囲みグ ラフ	グラフ全体	学習上必要な単位が示されていない。	2-(10)
6	43	囲みグ ラフ	下グラフの凡例 している	不正確である。	3-(1)
7	52	囲み1 2-13	自分と取り戻そうとするフランクは	誤記である。	3-(2)
8	84	脚注2 -9	この大会・・・繰り上げで二位となつた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (2008年の大会のときに繰り上げ2位になったかのように誤解する。)	3-(3)
9	88	脚注2 -3	ウサイン・ボルト (一九八九～)	不正確である。 (生年)	3-(1)
10	97	囲み3 -6	真理子とみゆきの役に分かれ・・・再現して	心身の健康、安全及び健全な情操の育成について必要な配慮を欠いている。 (いじめを題材にした役割演技に当たっての十分な配慮)	1-(5)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 29-68		学校 中学校		教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	98	表題下	めしだてるあき 召田昭明	誤記である。	3-(2)	
12	128	2	「ツルとその飛来地」として国の特別 天然記念物	不正確である。 (特別天然記念物の名称)	3-(1)	
13	155	6 - 7	私たちの日本の文化には、・・・そし てその表れとして、他の国に類を見な い、細やかな言葉遣いがある	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
14	170	囲み8	「無理ではないか」	表記が不統一である。 (169ページ10行の記述)	3-(4)	
15	185	脚注8 -12	ゲリラ 小部隊で敵の隙をうかがい、 小戦闘や奇襲を繰り返して、敵をかき 乱す戦法。	本文の文脈に照らし合わせて理解し難い表現である。 。(185ページ2行・3行・4行・5行・7行・8行・写真キ ャプション1行の記述)	3-(3)	
16	216	21	口をきわめて彼女彼女に中傷の矢を浴 びせた。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
17	中巻 36	囲み9 -10	何が失敗で、何が成功かなんて	表記が不統一である。 (35ページ16～17行の記述)	3-(4)	
18	39	脚注1 3	一九九七年 他：40ページ写真キャプション	不正確である。 (創設の年及び受賞年)	3-(1)	
19	92	16	明治二十三	相互に矛盾している。 (西暦)	3-(1)	
20	94	7 - 8	みらびやかいしゃ	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 29-68		学校 中学校	教科 道徳	種目 道徳	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	104	脚注8	に山や谷がある。こと	誤記である。 (句点)	3-(2)
22	147	3 - 4	「さまざまな人たちが・・・相手を「思いやる」心をもって、支え合って生きています。	誤記である。 (かぎ括弧)	3-(2)
23	192	15 - 16	「日本はドイツと防共協定を結んでいる国です。そのために、あなた方ユダヤ人にビザを出すのは難しい立場にあります。このことを分かっていたきたい。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (当時の日本の外交政策)	3-(3)
24	193	6	幸子の読み方 (さちこ) 他：193ページ7行	表記が不統一である。 (190ページ15行・16行の読み方)	3-(4)
25	下巻 1	9	情報のモラルマーク	相互に矛盾している。 (108ページ表題下社会を生きぬくマーク)	3-(1)
26	41	グラフ	平成24年	不正確である。	3-(1)
27	155	写真キャプション	1958～1954年	不正確である。 (生年)	3-(1)
28	189	脚注2-4	一九一一～一九四七年、日本学士院が授与する賞	不正確である。 (日本学士院)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。